

## 原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和4年6月17日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：黒川長官官房総務課長

### <本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから6月17日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○黒川総務課長 報道官の黒川です。

お手元の広報日程に沿って説明をいたします。

まず、2ページ目の6月21日の（4）ですけれども、緊急時活動レベルの見直しに係る会合ということで、これは6月1日の委員会でBWR（沸騰水型原子炉）について、特定重大事故等対処施設ができたことに伴うEAL（緊急時活動レベル）の見直しをするという方針が報告されたところですが、これはその件についてということで、事業者側はATENA（原子力エネルギー協議会）とBWRの各社が参加します。

今回が初回で、今後の進め方について議論するという事なので、特重なのですけれども公開ということになります。次回以降は、特重の中身の議論になるので非公開になる見込みです。

次が、6月23日の（7）、第1055回の審査会合です。

議題は2つで、1つ目は東海第二の設工認で、これは新規制基準のほうではなくて、放射線モニタの設置場所の変更という個別案件のようです。

2つ目が、泊の設置変更許可ということで、今回は耐震設計についてということになります。

次が、3ページ目に行きまして、6月23日の（8）、炉安審・燃安審の地震・津波部会です。

これは年1回ぐらいのペースで開催するという事になっていまして、今回が昨年5月に続いて2回目ということになります。

議題は、地震・津波等の事象に関する知見の分析結果とありますけれども、これは過去1年間の技術情報検討会での検討結果が報告されるというもので、特に新しいものが出るというものではありません。

次が、6月24日の（9）、核燃料施設等のほうの審査会合です。

議題は2つで、1つは、京都大学の設工認でありまして、これは4月に設置変更がされた低濃縮燃料の件についての設工認ということになります。

2つ目は、JAEA（日本原子力研究開発機構）のSTACY（定常臨界実験装置）の保安規定

ということで、運転再開に伴うものということのようです。

次が、6月24日の（10）、第1056回の審査会合です。

特定重大事故等対処施設なので非公開です。議題は女川の地質についてということになります。

次が、6月24日（12）、新規制要件に関する事業者意見の聴取に関する会合ということで、この会議は、事業者の意見を聞きたい案件が出るたびに不定期でやっているものですけれども、議題は、PWR（加圧水型原子炉）1次系におけるステンレス鋼配管粒界割れに係る事業者意見と書いてありますけれども、これは一昨年9月に大飯3号機で起きた加圧器スプレイラインの応力腐食割れという事象について、その発生メカニズムなどをATENAと関西電力が研究を進めるということになっていましたので、その研究の進捗状況について、ATENAから説明を受けるということになります。

こちらからは以上です。

#### <質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

質問のある方は手を挙げてください。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。ありがとうございました。

—了—